

# 新いりだ

2015年11月22日(日) 第1818号  
発行所 新いりだ 長岡市曲新町1-12-14 ☎025(247)6366  
毎月第4日曜日 定価150円(送料50円)1966年7月22日 第三種郵便物認可

## 戦争法廃止・参院選で共同を

### 総がかり集会で野党代表強調



一斉にプラカードを掲げる参加者=2日、新潟市

戦争法廃止！安倍政権退陣！総がかり行動in新潟実行委員会は2日夜、新潟市で県民集会を開き、会場いっぱい300人が参加しました。野党6党の代表が連帯あいさつし、野党共同の重要性を強調しました。

民主党県連の内山五郎幹事長は「自民の暴走に歯止めをかけるため、野党共闘を重視し、参院選候補を検討している。廃止のため全力でたたかう」と強調。日本共産党の渋谷明治県議は「国民連合政府実現で、野党が選挙協力するために全力を尽くす」と力説しました。

社民党県連の小山芳元代表は「戦争法廃止で団結・連帯して頑張る」と強調。生活の党の森裕子元参院議員は「野党がバラバラでは勝てない。一致団結して頑張ろう」と述べました。新社会党県本部、緑の党新潟の代表もあいさつしました。



国民連合政府実現を訴える、たけだ、にしざわ候補ら=10月31日、新潟市

### 国民連合政府実現を

#### たけだ比例候補宣伝

日本共産党の、たけだ良介参院比例候補は10月31日、新潟市内5力所で、にしざわ博選の金子修弁護士は、改めて戦争法の問題点を指摘しながら、戦争法廃止のため野党が「大人の関係」で共同することを求めました。最後に、斎藤悦男平和運動センター議長が「忘れず、あきらめず、粘り強くたたかっている」と訴えました。

たけだ候補は、共産党の戦争法廃止の国民連合政権構想は戦争法案反対の国民の運動が生み出したとも言えるもので、国民の声によって政治を動かす時代になっていることを強調。「参院選は歴史的なたたかひになる。野党共闘を実現させ、政治を変えるために日本共産党を躍進させてください」と訴えました。

にしざわ候補は「諸悪の根源、安倍政権を倒すために先頭になって頑張ります。世論と運動をいかに広げることが重要です」と呼びかけました。

### 五泉市議選

1から2へ議席増

10月25日投票の五泉市議選(定数20、立候補24人)で、日本共産党の猪熊豊(64)が現職の両氏は、7位と8位で当選し、1から2議席に増やしました。合計得票は2501票で、前回より45票減りましたが、得票率では0.69ポイント増やし、衆院比例票を130%伸ばしました。今井氏は、前回30票差で及びませんでした。悲願の議席を獲得しました。

### 津南町議選

2議席確保

10月25日投票された津南町議選(定数14、2減、立候補15人)は、日本共産党の藤ノ木浩子(55)、桑原洋子(65)の両氏が現職の両氏は、4位と9位で当選し、2議席を確保しました。衆院比例票を149%伸ばしました。

聞いていた猪股ミチさんは「たけだ候補の話はアベノミクスの3本の矢に反論し、具体的によく分かった」と話しました。田辺寅助さんは「主張にまったく同感です。参院選は自民党を倒すために、野党共闘がどれだけできるかに

# 戦争法廃止の2000万人署名の達成を 日本共産党 国民連合政府実現も訴え



次々市民が立ち止まった党県委員会の署名行動＝18日、新潟市

日本共産党新潟県委員会は18日、新潟市で先週から始めた戦争法廃止の2千万人署名の街頭署名行動をいたしました。樋渡士自夫県委員長、にしざわ博参院選挙区候補、野本孝子市議らが参加しました。にしざわ候補は「日本共産党は戦争法廃止総がかり行動実行委員会の一員として2千万人署名に取り組んでいます。戦争法は自衛隊が海外で武力行使する

憲法違反の悪法です」「立憲主義をないがしろにする戦争法を廃止させ、安倍政権を退陣に追い込むために、野党共同で国民連合政府を実現しましょう。日本共産党は全力を尽くします」と訴えました。新潟市が進める新バスシステム（BRT・連節バス）の是非を問う直接請求署名を訴えたこともあって、自転車を止めて署名する人など多くいました。



野党が協力して戦争法廃止の政府実現を訴える参加者＝10月29日、新潟市

## 戦争法廃止で野党協力を

### 新潟市秋葉区で集会・パレード

新潟市秋葉区の9条の会と憲法を守る新津・小須戸ネットワーク（戦争をさせない1000人委員会）は10月29日夜、区内で戦争法廃止を求める集会とパレードを行いました。雨のなか、「戦争法廃止の政府を」「野党が力を合わせて勝つしかない。自民、公

党共闘」などの横幕を持った人など80人が参加しました。9条の会の板橋育夫事務局長が「憲法違反の戦争法は私たち国民の力で廃止させよう。そのためには参院選で野党が力を合わせて勝つしかない。自民、公

明議員を引きずり降ろそう。全国で共同が進んでいる。必ず新しい政治は実現できる」と訴えました。同ネットの新津地区平和環境労働会議の井浦政敏議長は「安倍首相は戦争法について説明に務めると言いながら、責任を果たしていない。沖縄新基地建設、TPP（環太平洋連携協定）でも反対の声を押し切ろうとしてい

る。参院選で自公を落とすことが大事だ」と述べました。連帯あいさつで「千人委員会と若いママの会は、民主党と社民党に野党統一候補擁立を要請した。ぜひとも実現してほしい（県平和運動センター）、「小学3年の子どもがいるが、戦争の体験をさせない。子どもを守っていく（県職労中蒲原支部）などと述べました。

### アベ政治を許さない

#### 各地でスタンディング

新潟県内で3日、「アベ政治を許さない」の一斉ポスター掲示が各地で行われました。新潟市東区では、区役所前の交差点に、安保関連法に反対するママの会の人たちや新婦人会員ら10数人がスタンディングしました。



スタンディングする新婦人会員ら

「戦争法廃止！平和を あきらめない」「アベ政権は今すぐやめろ！」のポスターも掲示。日本共産党の飯塚孝子市議が「戦争法を廃止させるために、参院選で野党は力を合わせ、自民党政権を打倒しましょう」などと訴えました。

# 戦争法廃止で平和な世界を

## 宝田明さんが体験語り 参加者と合唱



参加者と合唱する宝田さん＝10月21日、新潟市

新潟県9条の会と新日本婦人の会県本部は10月21日、新潟市で俳優の宝田明さんを迎え、講演会を開き、350人が参加しました。

9条の会呼びかけ人代表の中村洋二郎弁護士は「戦争につながる悪法は許しておけない。廃棄するまでたたかおう。宝田さんのお話を力にして運動を大きく広げていこう」と呼びかけました。

宝田さんは、終戦を中国ハルビンで迎え、旧ソ連軍が侵攻し、右腹を撃たれ、退役軍医から麻酔もないなか弾を取り出してもらい命拾いし、日本人が子どもを残して帰国せざるを得なかったなどのつらい戦争体験を吐露。「戦争では無垢の民がみんな犠牲になっていく。それが戦争なんです。戦争は憎しみ、憎悪しか生まない」と語りかけました。

宝田さんは、戦争法廃止の国会前の集会に参加していたことも話し、日中関係について「小中高校の時から過

### 戦争法廃止を大きな連帯で

#### 新潟県9条の会が交流集会

新潟県9条の会は14日、新潟市で全県交流集会を開き、26の会から64人が参加しました。阿賀野市の会は「共



活発に活動を交流しあった集会＝14日、新潟市

去の戦争など歴史の真実をきちんと伝え、国民に浸透させる努力をしている姿を示し、信頼を得ていくことが大事だ」と強調しました。

参加者から「迷いながらも来て本当に良かった。150%も満たさなかった。多謝！」と心響くお話で、義母を連れてきたかった」との感想がありました。

20日にも宝田さんは、父の出身地・村上市で講演し、450人が参加しました。

成嶋隆・獨協大学教授（新潟大学名誉教授）が、日本国憲法における平和主義が、前文と第九条でどのように規定されているかを詳しく解説し、諸外国の憲法と比較しても非常に先進的な規定を行っていたことを明らかにしました。また、「安保法（戦争法）」がなぜ「違憲立法」であるかを、豊富な資料を駆使して解説し、この悪法を廃止する展望についても語りました。

阿賀野市の会は「共産党が提唱した国民連合政府は、9条の会が活動するには一番ふさわしい舞台が与えられた。今まで以上の連日

宣言、ニュースの毎月発行と宛名封筒による郵送、500人への会員拡大に挑戦したい」と強調しました。

### 戦争法廃止の展望は

#### 魚沼九条の会講演会

魚沼市の魚沼九条の会は8日、市内で結成6周年記念講演会と総会を開き、80人が参加しました。

総会では大平荘一事務局長が憲法勉強会（5回）、街頭宣伝（10回）、ニュース発行（14回）、戦争体験聞く会など1年間の活動を報告しました。

# BRTは住民投票で意思を

## 直接請求で会が宣伝・署名

新潟市が進める新バスシステム(BRT・連節バス)の是非を問う住民投票条例制定の直接請求署名運動を展開している同実行委員会は14日、新潟市で毎週行っている街頭宣伝・署名行動に取り組みました。

宣伝では、「新潟市の無駄遣いを止めさせる会」の斎藤裕代表らが「9月から始まった連節バス運行で、事故が多発したり、運行が遅れたり、乗り換えが増えるなど市民から苦情が殺到しています。70億円も税金を使う事業が本当に必要かどうか、市民の声を聞くべきです。市民にとって重要なことは市民自らの判断で決めましょう」と訴えました。



署名が続々集まり、対話もはずんだ宣伝・署名＝14日、新潟市

署名した男性(57)は「大学病院に通院している叔母は、乗り換えが増え、通院が大変になったと言っていて困っている。せめてBRTは見直さるべきだ」と話しました。

70代の女性は「本当に困っている。雪が降ったらどうなるのか」と話しました。

# 国保料引き下げ5万人署名を

## よくする会がスタート集会

新潟市の国保をよくする会は10月27日、市内で市長に国保料引き下げを求める請願署名運動のスタート集会を開き、65人が参加しました。

新潟民主商工会の高橋武昌会長が「高すぎた国保料の滞納世帯が16%になるなど、負担は限界を超えている。国保も根っこは同じで市長の姿勢の問題だ。多くの市民に伝え、引き下げを実現しよう」とあいさつしました。



「負担は限界」との声が相次いだ集会＝10月27日、新潟市

た日本共産党の野本孝子市議は、5月に成立した医療保険改定法は多くの問題を含む一方、低所得者の保険料負担軽減で国から今年度も来年度も12億円程度配分される予定であり、市は一般会計から14億円繰り入れており、これを維持して国の財政支援も生かしていけば1世帯1万円の国保料引き下げは十分できると強調しました。

質疑では「国保料の減免で、以前500人程度申請が受理されたが、今は5人になっている。減免が認められない中、生活保護程度でも減免制度がない実態を多くの人に知ってもらうためにも署名運動で頑張ろう」(民商)、「国保料分割納入の相談に乗っているが、滞納をなくさないで減免を受けられない仕組みだ。社会保障の立場に戻すためにも署名運動は必要」(生活と健康を守る会)との発言が続きました。

事務局から、5万人を目標に署名を集め、区や地域ごとの活動、自治会、老人クラブへの働きかけを強めることが提案されました。

**社会医療法人 新潟勤労者医療協会**

理事長・高橋常彦	〒956-0814	新潟市秋葉区東金沢1459-1	TEL0250 (24) 5170
下越病院	〒956-0814	新潟市秋葉区東金沢1459-1	TEL0250-22-4711
舟江診療所	〒951-8011	新潟市中央区入船町3-3629-1	TEL025-229-3588
介護老人保健施設入舟	〒951-8011	新潟市中央区入船町3-3629-1	TEL025-229-3588
沼垂診療所	〒950-0075	新潟市中央区沼垂東6-4-12	TEL025-244-0116
坂井輪診療所	〒950-2054	新潟市西区寺尾東3-8-35	TEL025-269-6630
おぎの里	〒956-0012	新潟市秋葉区荻野町3-8	TEL0250-25-3071
ときわ診療所	〒950-0036	新潟市東区空港西1-15-17	TEL025-274-2714
かえつクリニック	〒956-0836	新潟市秋葉区田家2-1-30	TEL0250-22-5888
かえつ歯科	〒956-0831	新潟市秋葉区中沢町1-25	TEL0250-25-5510

**飾る**

「首飾り」この夏病気に合った。姪が見舞いにネックレスを買ってくれた。80歳にして初めて手にしたネックレスを、毎日身につけて楽しむことにした。(高橋シズ)

地方政治と住民運動の専門誌

# 議会と自治体

月刊